

# IRC2022 新規申告書(New Application Form) の記入について

## 1. 基本事項

- 1) 申告書(エクセル版)への文字の入力は、半角英数の大文字を使用して記入する。  
但し、英文コメントは英文書式に従い半角小文字の記述は可、艇名は大文字が推奨される。
- 2) 数値データはメートルとキログラムの単位で入力し、長さは少数点以下2桁(メートル)  
重量は整数(キログラム)を意味する。(但し、"m"や"kg"など単位は記入しない。) [記入例] 長さ系: 1234mm → [ 1.23 ]  
、質量系: 5678kg → [ 5678 ]
- 3) 住所等のセル入力は、セルを越える入力はしない。
- 4) PAYMENTの項目は記入不要。(257~264行が黒塗りで入力されぬよう配慮されている。)
- 5) 申告書入力後は、必ずシート3ページ [Validation]シートの項目をチェックすること。 **B列[Missing data]**と、**C列[Probably incorrect data]**の赤字項目はもう一度入力した データーを確認して正しく入力する!
- 6) オーナーサイドとして入力・記入できるのは、この申告書の[Application]シートに限られる。しかし、レーティング・オフィスは全てのワークシートが必要なので、エクセル・ブック全体をファイル名に書き換えJSAF IRC委員会(レーティングオフィス)に提示する。
- 7) 保存時のファイル名は ヨット名、セイルナンバー、日付(yymmdd)と統一する。  
例 APHROS JPN6943 220101.xls (英数半角大文字に限定)

## 2. スタンダード・ハル・データについて、

IRC新規申告において、ハル・データはスタンダード・データを採用して申告が出来る。この場合、ハル(艇体)と重量(Boat weight)の計測を省くことができる。

- ① スタンダード・ハル・データ登録の有無(適用可否)確認と艇種の申告。
  - B列23行の[Click here and...]セル→リストからビルダー/デザイナーを選択する。
  - B列25行の[空欄セル]をクリック→リストから、モデル/喫水を選択する。
  - G列26行の<select>をクリック→[yes]:[no] スタンダード・ハル申告を宣言する。  
情報元は 自動で入力されます。
- ② スタンダード・データを用いて申告する場合、**インナーバラストがある場合その重量を記載。**

### 3. 申告入力の注意事項

1) [ハルとアベンテージ],[ RIG and sails]における記入留意点、

①データ・ソース[情報元](F列43行～F列139行)は下表を参考に洩れなく記入する。

1	IRC OD	5	Builder
2	IRC measured / IRC計測員氏名	6	Designer
3	IMS (ORC-I) 有効証書所有	7	ORC Club
	上記は、 <b>Endorsed</b> として取り扱われる。	8	Owner
4	IRC STD	9	Other (その他)

- ・同じ項目でソースが上欄セルの記入と重複する場合は ditto (同上)と入力してよい。
- ・Other (その他) の場合、JASF IRC委員会(T/C) に問い合わせる。
- ・IRCメジャーの指導でオーナーが測った数値はコメント欄に[IRC Adviser/名前]と記入。
- ・セイルメーカーから得たデータは [sail maker]と記入、[irc\_sail\_input\_sheet]を添付する。

② 重量 (Boat weight) について、

- ・ロードセル秤を用い重量計測した場合には、[情報元]は [ L/C weighed ] と記入する。また追加コメント欄(225行以降“Additional Comment”)に残留燃料の重量を補正した メモを記入する。 記入例：[ Fuel: 18.5Lit\*0.85= 16Kg]
- ・[IRC STD]、[IRC OD]の申告では重量申告の必要はない。
- ・[IMS](ORC-I)、[ORC club](ORC-c)は、Displacement (DSPM) などの重量 申告も可能だが証書コピーの添付が必要、また委員会で見直しされることもある。

③セイル・データや申告に不明部分があればセイルメーカーに問い合わせる事が推奨される。

- ・セイルメーカーが発行するセイル・インプットシート [ [irc\\_sail\\_input\\_sheet](#) ]の数値は IRC公認メジャーの計測値として Endorsed データとして取り扱われる。
- ・メインセイルのガース(MHW, MTW,MUW)は申告 しなければならない。
- ・最大面積のヘッドセイルの HLU, HLP, HHW, HTW, HUW, Lmax は申告しなければならない。
- ・フットオフセットが 7.5%HLU を超えた場合申告しなければならない。
- ・計測値を申告するセイルのセイルメーカー名をコメント欄に明記する。

④ IRC申告書のオーナー宣誓書の欄 (エクセル232, 233) は 必ずチェックボックスに チェックを入れ、オーナー名、日付の記入を確認すること。

⑤ 286行以下の [ 追加コメント/補足]に、申告内容を補足する追記説明や、計測に関連して特記 するコメントがあれば報告する。(英文表記が原則だが日本語記述表記でもよい→T/Cが翻訳)

2) 64行-73行、141行-181行[選択項目]における留意点、

- ①ハルとアペンデージ、リグの構成・配置条件の申告はリストボックスから選択する。  
外洋計測委員会(T/C)による申告内容のチェックがされるが、オーナーサイドとしての選択判断をして洩れなく申告する。(不明疑問部分があれば外洋計測委員会(T/C)に問い合わせる。)
- ②キール形状は、新規申告書の4ページ [IRC keels]シートを参考に判断・選択する。)
- ③141行：レース中使用するアイテム：スピンプール/バウスプリットは、何れかを使用するか？ 又は、両方を併用するか？明確に申告する。
- ④エンジンウエイトに関してはJ S A F IRC委員会の [エンジン・ウエイト・リスト]を参照する。 エンジン形式・情報は、実艇の銘板を確認、リストと照合し重量を入力する。

3) 186[PART2・オーナーに申告義務がする項目]における留意点、

- ①221行までの選択項目は必ず選択をお願い致します。
- ② [STANDARAD FITOUT] 艇内装備で取外したり、変更したものの詳細を正確に申告する。

4. その他の注意事項

- 1) 他の証書(例えば、ORC-I や ORC-C)の計測データを引用した場合は、その証書との比較が必要となるので、必ず申告書と共に引用した証書のコピーを添付すること。
- 2) 計測を実施した状態：天候、風速と海面の状態を 追加コメント欄に記入。  
例 Weather clear, Wind 3m, Sea flat  
cloudy, rainy rippled, wavelet,.
- 3) 艇の写真が必要です。キール、ハル、デッキ、内装、資料：[添付写真例] を参考に！ インサイドバラストがある場合はバラストの位置及び固定方法が分かる写真、また、同型 姉妹艇(同型プロダクション艇)と異なる特徴がある場合はその部分の写真添付が必要。
- 4) 外洋計測委員会の持つデータとの比較チェックを委員会が行い、数値が明らかに異なる場合は再度申告を求める場合もある。

5. 申告書の提出と添付図書について、

提出先：JSAF 外洋計測委員会) → [offshore-mc@jsaf.or.jp](mailto:offshore-mc@jsaf.or.jp)

提出資料：申告書(Application Form) + 添付写真 + (引用した証書等のコピー)の3点を、Zipフォルダーにまとめて提出する。

\*ファイル名(ホルダー名)は、前述：1.(7)に従う。